

## 社会福祉法人幸清会 福祉・介護サービス講座

### ～いってみよう！ やってみよう！ みんなの介護～

12月5日(土)6日(日)2日間に渡り室蘭市と洞爺湖町で、それぞれ「福祉・介護サービス講座」～いってみよう！ やってみよう！ みんなの介護～が、特別養護老人ホームみたらの杜(室蘭市)、特別養護老人ホーム幸楽園(洞爺湖町)が中心となり、開催されました。

これは、北海道からの補助事業である潜在的有資格者等養成支援事業として開催し、2部構成で行われました。室蘭市開催は特別養護老人ホームみたらの杜1階市民ギャラリーで地元住民の方や介護を学ばれている学生など約60名が参加。洞爺湖町ではふるりの丘総合福祉館1階ふれあい広場でこちらも約60名の方が参加されました。



福祉用具の説明



室蘭会場の様子

触れるというコミュニケーションによって安心感をもたらすという、認知症緩和ケア手法「タクティールケア」を実演し、参加された皆さんは、興味深げに実践され、触れるということが、実は昔から誰でもしていることではあったが、改めてこの手法を使うことにより、受ける側もさせていただく側も穏やかになっていく関係が分かり、認知症の方の心の穏やかさと安心感に結びつく効果を体験されておりました。

法人事務局の大久保事務局長の挨拶のあと、第1部は、あすか福祉用具貸与事業所(北広島市)の傳法晴夫氏が「福祉用具の基礎知識」と題して講演し、介護用ベッドの説明や最新の車椅子の使い方など、入浴関連用品は実物を使用しながら使用方法など説明がありました。

第2部は「北欧に学ぶ体験介護」と題して、スウェーデンから入ってきた「認知症緩和ケアとタクティールケア」について、JSCI日本スウェーデン福祉研究所認定インストラクターの鈴木卓也氏が講演しました。



タクティールケアセミナー



トランスファー体験

その後参加者は、各コーナーに設けられた展示パネルなども見学し、身体に介護負担がない移動方法やその手法などにも興味深げで、ベッドを使用してのトランスファー(移乗動作)を体験。ポデイメカニクス(“てこ”の原理を利用し最小の力で最大の効果を得る手法)を学び、明日の介護に役立てようと熱心に参加され知識を深めておりました。



社会福祉法人幸清会は、これからも地域の皆様の暮らしや介護に少しでもお役に立てるよう、介護に役立つ情報など発信し、体験介護など多くの機会を提供して参りたいと考えております。

室蘭市及び洞爺湖町の皆様、ご参加いただきましてありがとうございました。



地域包括支援センター相談コーナー



パネル展示